S A M E G A W A

さめがわ

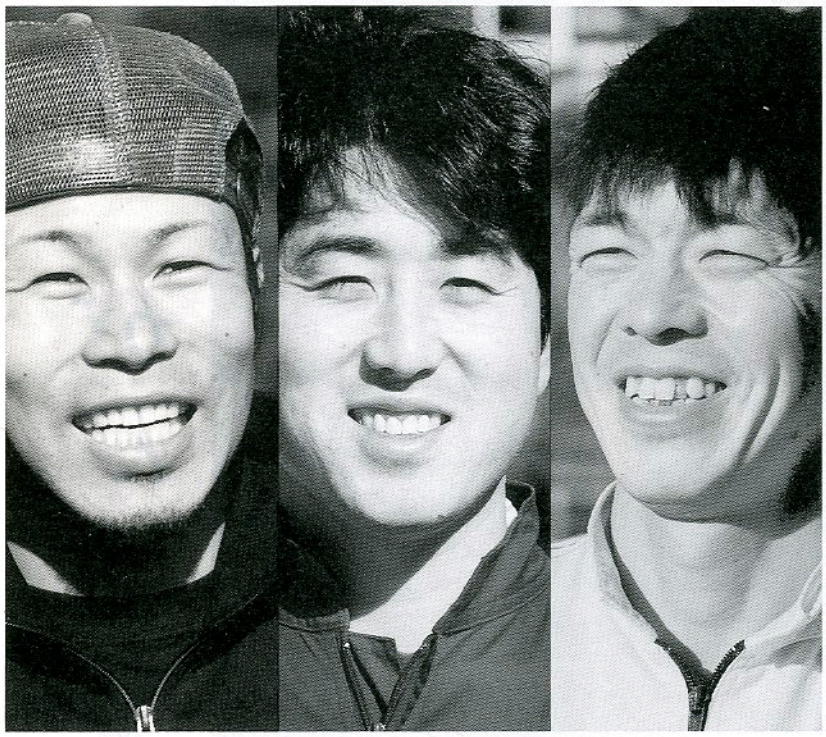
［広報］ 鮫川村広報誌

No. 596
平成15年12月1日発行
DECEMBER 2003
12

特集

心を継ぐ。

親から子へと受け継がれる農業の心



■グラフ特集
第16回高原の鮫川うまいもの祭り

■行政情報
平成16年度保育所入所児童募集
村議会で「不法投棄防止宣言」を決議　ほか

［表紙写真］
農業に夢をかける若者たち
（2～11ページに関連記事）

がんばる農業後継者



今年４月に就農し、農業後継者となった白坂忠幸さん(左)と父・久幸さん

心を継ぐ。

親から子へと受け継がれる農業の心

Special Edition



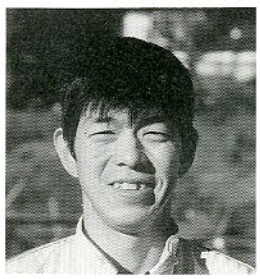
全国的に農業後継者不足が深刻化している。
それは、鮫川村においても例外ではない。
農林業センサスの資料によると、
村内の専業・兼業を合わせた農家戸数が1985年の843戸に対し、
2000年には753戸となり、15年間で90戸も減少している。
また、農業就業人口の高齢化も叫ばれている。
2000年度の農業白書によると、全国の農家戸数が312万戸。
農業人口は389万人だが、実にその半数以上が65歳以上となっている。
そんな中、農業に可能性を追い求め、
農業後継者としての道を選んだ人たちがいる。
農家としての誇り、農業の心を受け継いだ若者たちである。



白坂忠幸さん



芳賀省悟さん



坂本好功さん

まずは、親父のような農業のプロになること。

白坂忠幸さん *Tadayuki Shirasaka*

赤坂西野字酒垂在住・23歳［野菜＋水稲］





ウドの根の掘り起こし作業に励む忠幸さん。このあと、掘った根を室（むろ）に入れて栽培する



黙々と続く作業。手前は積み上げられたウドの根

ウドの栽培を成功させた父に少しでも近づきたい

鮫川村で唯一のウド生産農家「白坂農園」の後継者として、忠幸さんは今年の四月に就農した。忠幸さんは高校を卒業後、茨城県にある鯉淵学園に進学し、農業経営科で四年間、露地栽培のほか、農業経営全般について学んだ。

父親の久幸さんは、「農業後継者と言うより、今は百姓見習いだよ」。また、母親の美之（みゆき）さんは、「見習いのうちは、のんきに仕事ができるよね」と笑う。

「ウドの栽培を成功させて、ここまで規模を大きくしてきた親父は、正直すごいと思いますよ。そんな親父に少しでも近づきたいと思いますね」と忠幸さん。

鯉淵学園を卒業し、農協や企業に就職する人が少なくない中で、忠幸さんは、ほかに就職先を求めようとはしなかった。子どものころから両親の働く姿を見て育ち、いつの間にか農業の道を選んだのだという。

「長男だからという思いも多少はありましたが、親父の背中を見ているうちに…」

収穫が一番楽しいし、やりがいがある

白坂農園では、夏場は主にインゲンの収穫と出荷、冬場はウドの生産と販売に忙しい日々を送っている。このほか、水稲やナガイモ、ゴボウ、ニンジンなどを作付けしている。中でもウドは約二ヘクタールを作付けし、

心を継ぐ。

親から子へと受け継がれる農業の心



左から父·久幸さん、母·美久さん、忠幸さん

収入の半分を占める。

ウドの生産は、久幸さんが三十五年前に始め、試行錯誤を重ねて現在の経営にたどり着いた。そんな久幸さんは、「農業には遊び心が必要。つまり、経営や利益の追求だけに執着するのではなく、農業を楽しむという気持ちの余裕を持つことが大切。作る楽しさが身に付けば、何を言わなくても農業はできる」と強調する。

「やはり、収穫作業が一番楽しいし、やりがいがありますね」と、物を作る喜びをうれしそうに話す忠幸さん。

地元に戻ったばかりではあるが、村内の野球チームに所属し、業種が異なる人たちと積極的に交流している。

「仕事はもちろん大切ですが、たまに息抜きも必要だと思います。息抜きし過ぎるときもありますけどね」と笑う。

農業には肩書きなんていらない

「質の良いウドを生産して、白坂農園を全国的に有名にしたいですね。まずは親父のような農業のプロにならなければ」と、忠幸さんは意気込みを語る。

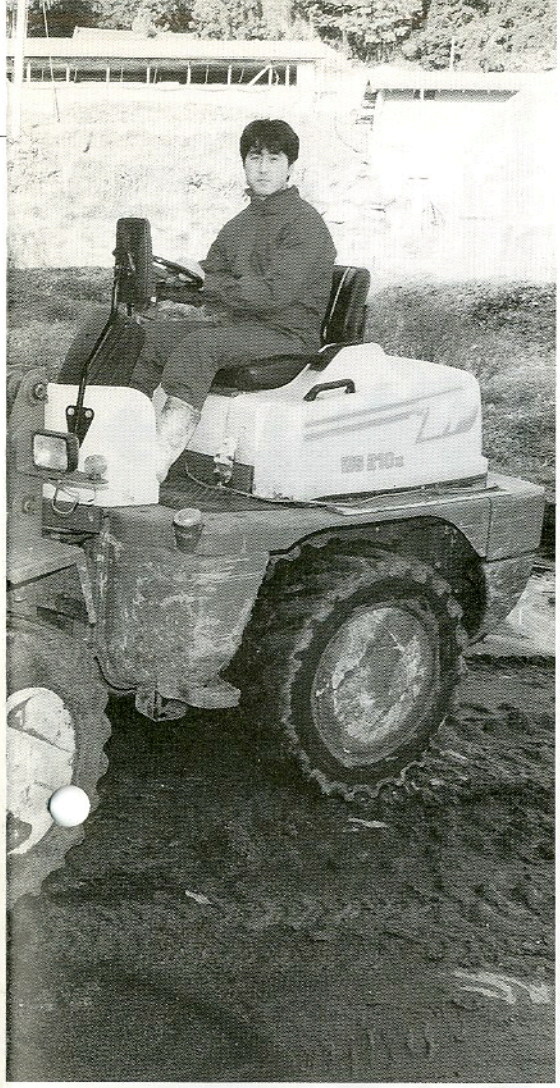
一方の久幸さんは、「農業には肩書きなんていらないんだよ。いい作物を作り続ければ、消費者も収入も増えるのさ」

そう話す父の背中に目をやりながら、忠幸さんは黙々と作業を続けた。





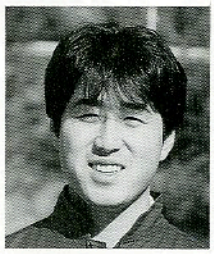
白坂農園ではナガイモの生産にも力を入れている



父が築いた養豚経営を、家族全員で守っていきたい。

芳賀省悟さん *Syogo Haga*

西山字鍛治平在住・30歳 ［養豚＋水稲］





母豚110頭を飼育している豚舎

父親の他界で自分の未熟さを痛感

「中学三年生のとき、長男の宿命かなって思い、農業高校に進学することを決めたんです」と笑う省悟さん。

岩瀬農業高校を卒業後、県立農業短期大学畜産科で養豚経営を学び、その後、群馬県と福島県内の大規模養豚農場で合わせて三年間、生産技術について研修を積んだ。

平成九年四月、二十四歳で就農。ところが、一年後の平成十年四月、予期せぬ出来事が芳賀家を襲った。一家の大黒柱として家族を支え続けてきた省悟さんの父・栄良さんが突然の他界。

「本当にショックでしたが、気持ちを切り替えざるを得ませんでした。生き物相手ですから、葬儀の日も仕事をしましたね」と省悟さんは振り返る。さらに続けて、「それまでは父に頼ってばかりでしたから、自分の考えの甘さに初めて気付きました。と同時に、この先自分がやっていけるのかという不安もありましたね。そして、思い通りに仕事が進まないときなどは自分の未熟さを痛感しました」

省悟さんが幼少のころ、父親が一頭から始めた養豚経営。省悟さんが後を継いでくれたことに対し、母親のいみ子さんは、「お父さんの願いがかなったんだね。省悟が後を継いでくれると言ってくれたときは、本当に心強かったし、頼もしく思えたよ」と感慨深げに話す。

忙しいときは兄弟で助け合いながら

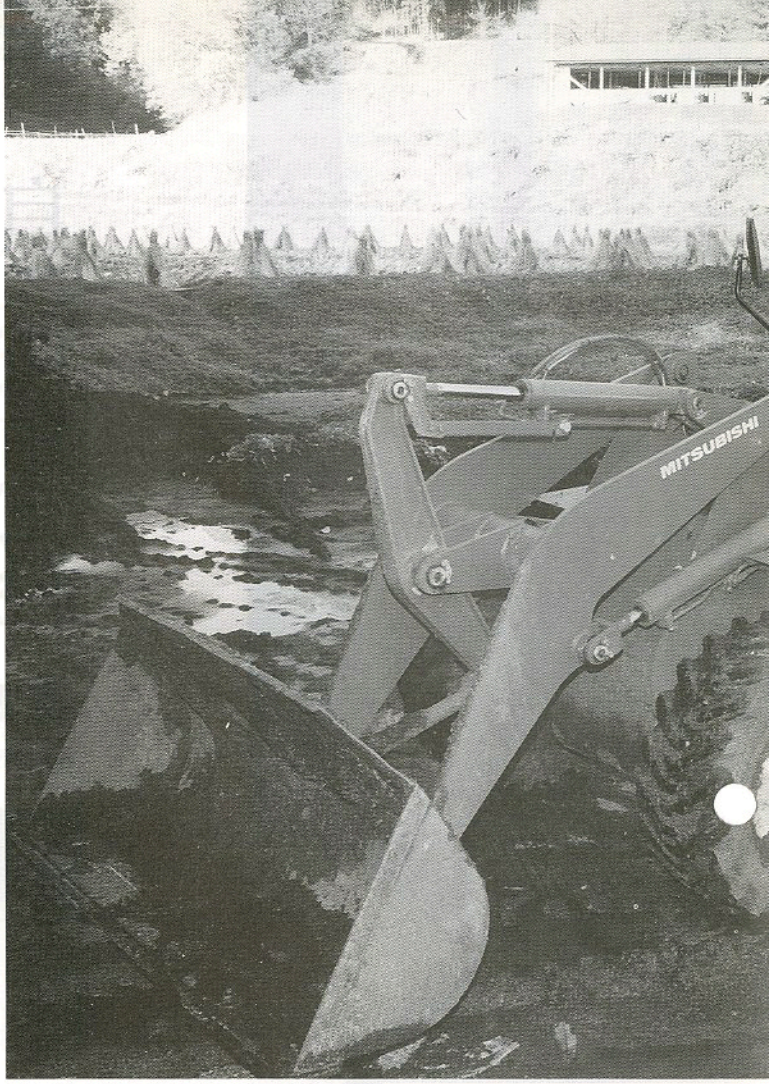
菌床シイタケの生産に力を注いでいる省悟さんの弟・省三さん（23歳）は、養豚の仕事が忙しいときには、真っ先に兄を手助けする。また、それが逆の立場になることもある。いみ子さ

心を継ぐ。

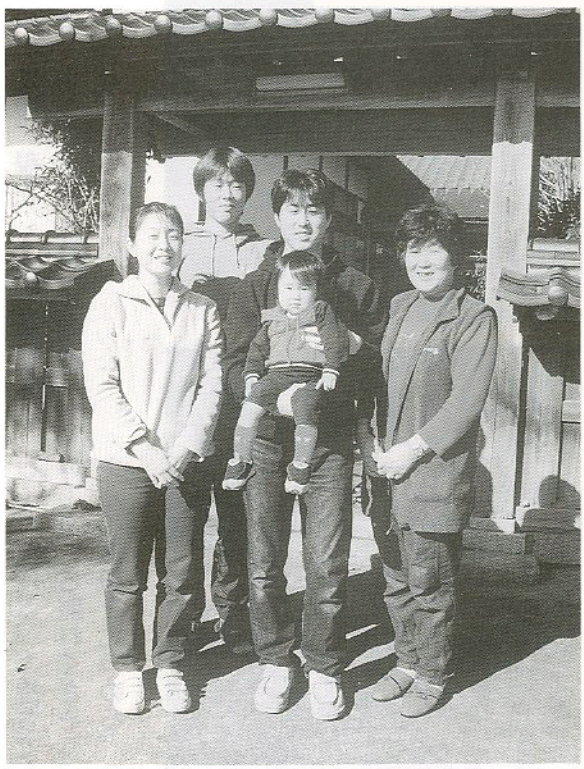
親から子へと受け継がれる農業の心



普段の省悟さんは、愛娘・彩乃ちゃんのやさしいお父さん



作業用の機械は省悟さんの手足となる



長女・綾乃ちゃんを抱っこする省悟さんを中心に、左が妻・誠子さん、右が母・いみ子さん、後ろが弟・省三さん

んは、養豚とシイタケ生産の両方をサポート。また、省悟さんの妻・誠子さんは家事と育児の傍ら、養豚業の経理を担当している。

「価格の低迷などで今は厳しい時代だけど、これからも家族全員で助け合いながら、父が築き上げてきた養豚経営を守っていきたいですね」と省悟さん。

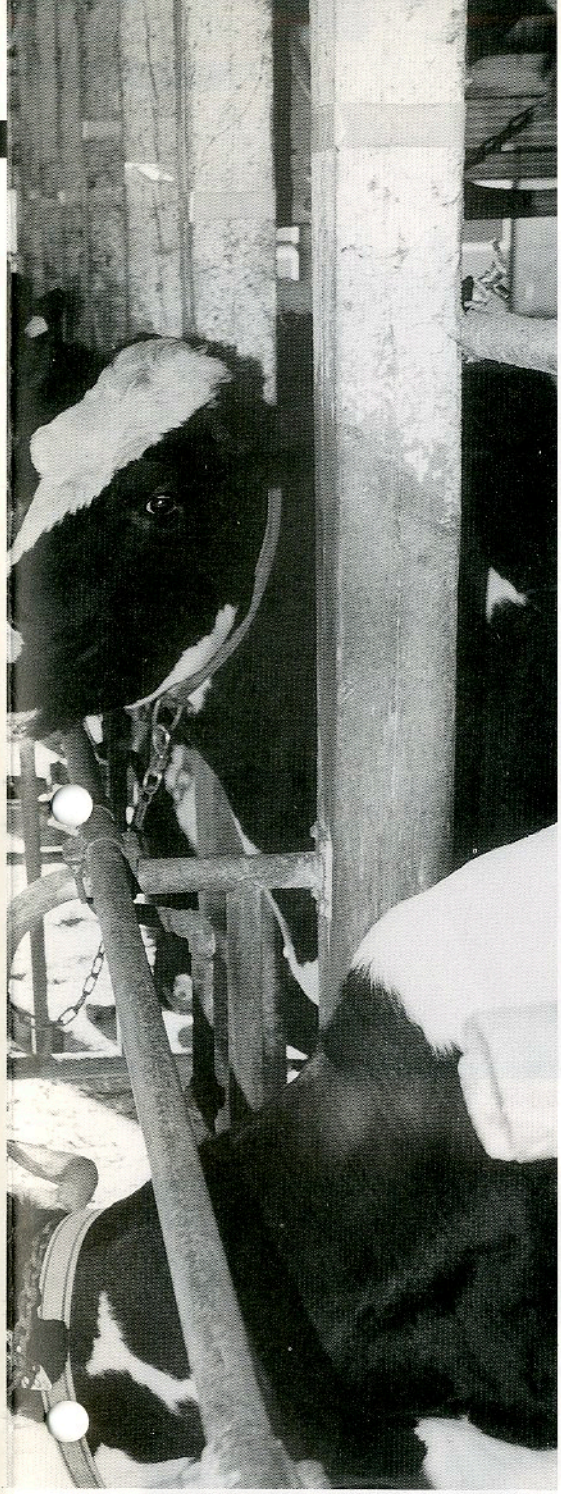
経営者ではない。日々、仕事をしているだけ

昨年八月に長女・彩乃ちゃんが誕生し、ますます仕事への張り合いが増したという省悟さん。

「子どもの顔を見るとホッとするんですよ。ストレスから解放される感じです」と顔をほころばせ、やさしい父親の一面をのぞかせる。

五年前、突然の父の死で後継者から一転して経営者の立場に変わった。

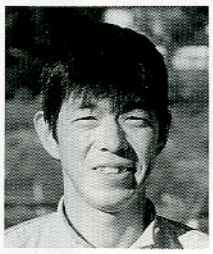
「農業経営者という感覚はないですよ。日々、仕事をしているだけですから」と笑いながら、自宅向かいの高台にある豚舎へと車を走らせた。



息子が将来、後を継ぎたいと思えるような経営をしたい。

坂本好功さん *Yoshinori Sakamoto*

富田字反田在住・35歳　[酪農＋水稲]



半世紀続く坂本家の酪農経営

終戦後の昭和二十年代、好功さんの祖父・行正さんが一念発起して始めた酪農。その心意気が子へ、そして半世紀経った現在、孫の好功さんへとしっかりと受け継がれている。

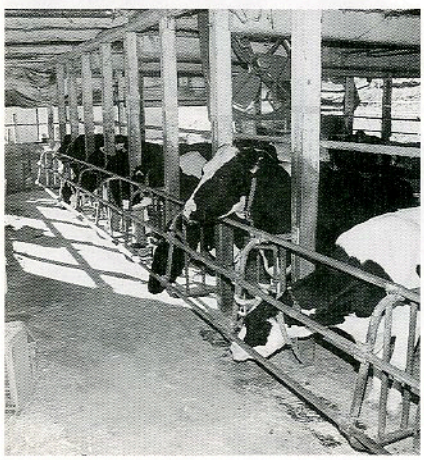
好功さんは、東白川農商高校を卒業後、県立農業経営大学校（現在の農業短期大学）畜産科酪農コースで二年間、酪農の生産と経営について学んだ。その後、郡山市で酪農ヘルパーとして働きながら、技術の向上に励んだ。そして、六年前の平成九年に就農。現在、二十七頭の乳牛（ホルスタイン種）を飼育している。

現在、父親の圭司さんは作業の手伝いとアドバイスをする程度で、経営面はすべて好功さんに引き継いだ。

「息子に農家を継いでくれとは一言も言わなかったね。でも、継いでくれたことは本当にうれしいし、期待もかけている。今は息子の好きなようにやらせているよ」と圭司さん。

また、好功さんも「俺も息子には後を継げとは言うつもりはないよ。だけど、後を継ぎたいと思ってもらえるような経営をしていきたいですね」

小学一年生の長男・大地君は、「仕事をしているお父さんは忙しそうだけど、力持ちでかっこいいよ」と照れくさそうに好功さんの横顔を見つめる。



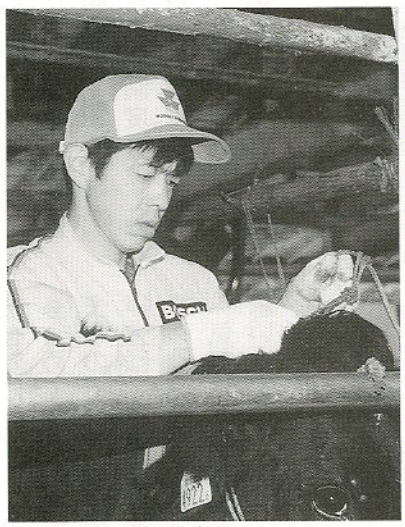
衛生管理に心がけているという牛舎は整然としている

心を継ぐ。

親から子へと受け継がれる農業の心



前列左から母
後列左から父



仕事に打ち込む好功さんの
表情は真剣そのもの



「今後は徐々に規模を拡大したい」と
意気込む好功さん

朝晩は大変。だけど、自由な時間が多い

酪農家の朝は早い。好功さんは毎日、五時半から搾乳を始める。また、夜は八時ごろまで搾乳や給餌などの仕事をこなす。

「大変なのは朝晩だけで、日中は酪農の勉強をしたり、いろいろな研修に参加したりと、結構自由な時間が多いんですよ」と好功さんはほほ笑む。

後継者問題などにより村内の酪農家は減少の一途をたどっている。しかし、酪農が盛んな近隣の石川地方など、県内には若い酪農家が大勢いるという。好功さんは、そうした若者が集う研究会などに積極的に参加し、交流を深めている。

「いい刺激になっていますよ。多くの仲間とかかわりを持つことで、もっと俺もがんばろうって思いますね」

できることはすべて自分でやる

人工授精師の資格を持つ好功さんは、自家生産の牛の人工授精は自分で行っている。設備投資がなかなかできない分、できることはすべて自分でやるのだという。また、現在はパソコンを使った農業簿記を勉強中。そして、良質の牛乳を生産するため、給餌や衛生面など個体管理に余念がない。

「徐々に設備を整えて、四十頭くらいまで規模を拡大したいです。そして、できるだけ自家生産の牛で経営したいですね」と夢を膨らませる。

農業に光あれ。

後継者の確保、育成に向けた今後の課題

森　洋 村農林課長補佐に聞く。



森　洋 村農林課長補佐
Hiroshi　Mori

■農業後継者（新規就農者）への支援

営農計画を含めて総合的に支援

農業後継者を含め、新たに農業を始めようとする人への支援策として、村では「新規就農者技術研修事業」を実施し、農業技術習得のための長期研修をする場合、月額三万円を上限として補助しています。

また、県においては、就農に当たっての総合的な相談のほか、経営開始のための制度資金（就農支援資金貸付事業、各種制度資金の対応）を準備しています。特に、県の審査を経て認定就農者になると「経営開始資金貸付事業」の対象となり、資質向上や研修のための資金について六十万円まで無利子で融資を受けることができます。この資金は、五年間計画どおりに営農すれば返還が免除されますので、有利な資金と言えるでしょう。

村では、新たに農業を始めようとする場合、これら各種事業を有効に活用しながら営農計画も含めて総合的に支援していきますので、詳しい内容を知りたい方は、役場農林課内に設置してある農業経営改善支援センターへ気軽にご相談いただきたいと思います。

認定農業者制度はあなたの「やる気」を応援します

認定農業者制度は、農業経営の規模拡大、生産方式や経営管理の合理化など、農業者が立てた計画を村が認定し、その計画の実現に向けた取り組みを関係機関・団体が支援していく仕組みです。

■認定の基準

農業経営の改善に向けて作成した「農業経営改善計画」（五年後の経営目標）が、村が定める「農業経営基盤強化促進基本構想」の要件を満たし、認定された人を「認定農業者」といいます。

認定農業者は男女を問わないことはもちろん、個人だけでなく法人も認定の対象となります。また、現時点で新規就農を目指す非農家や兼業農家も認定の対象となります。

村内では現在、意欲のある農業者三十五人が認定されています。

■認定農業者への支援施策

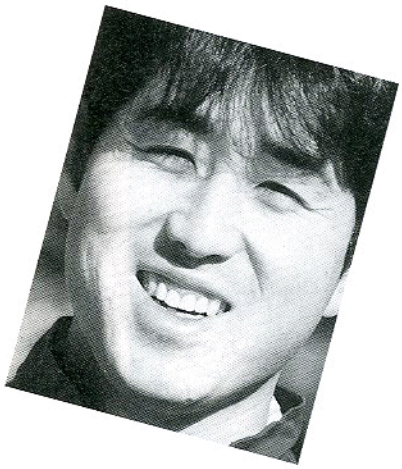
認定農業者は、次のような支援施策が受けられます。

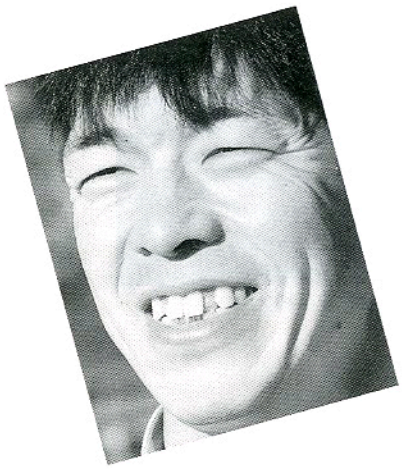
①農用地の利用集積の支援が受けられ、規模拡大が行いやすくなります。

②一定の経営規模の拡大を

心を
親から子へと受け継がれる農業の心
継ぐ。







がんばる農業後継者

■今後の課題と展望

新たな「鮫川の農業」の構築が急務

次に、農業後継者の確保・育成に向けた今後の課題について述べたいと思います。

村全体の現状を見ますと、後継者のいる専業農家率は他町村より高いのではないかと思われますが、さらに若い人たちの就農を誘導し、村の基幹産業である農業の活性化を図っていく必要があると考えています。

若者が就農するためには、夢と希望を持って楽しく働ける魅力ある職業でなければなりません。そのために、農家の皆さんの知恵と関係機関の連携が必要であると考えます。これからは、畜産部門の「ヘルパー制度」の充実や新規作物導入による特産品の開発など、新たな「鮫川の農業」を構築することが必要であると考えます。

なお、村では現在、「まめで達者な村づくり」をテーマに、「豆」の特徴ある生産・商品化を目指し、事業化を急いでいるところです。

［談］

行った場合、農業用機械や施設などの減価償却資産について、普通償却額に加えてその二〇％の割増償却を行うことができます。

③低利の資金貸付が受けられ、有利な資金活用が可能となります。

④農業経営管理などの各種研修に参加できます。

⑤青色申告を実施している農業者や家族経営協定の締結者は、農業者年金の保険料助成があります。

■■■

◎問い合わせ　村農業経営改善支援センター（農林課内）☎49-3114

3,500人が、食欲の秋を満喫。

Photo-Sketch of 高原の鮫川うまいもの祭り

第16回高原の鮫川うまいもの祭りは、さわやかな秋晴れとなった10月19日、鹿角平観光牧場で開かれ、家族連れや職場のグループなど約3,500人が食欲の秋を満喫しました。鮫川牛のバーベキューをメーンに、特産品の青空市や試飲・試食コーナーなどで鮫川の「うまいもの」を大いにアピール。特設ステージでは、奥州鮫川太鼓保存会による「強滝太鼓」をはじめ、ラジオ福島でおなじみの鏡田アナウンサー（かがちゃん）と紅晴美さんの「爆笑トーク＆歌謡ショー」、高原ＹＯＳＡＫＯＩ（よさこい）オンステージ、全日本干し草投げ選手権大会など多彩な催しが繰り広げられ、訪れた人たちは思い思いに秋の一日を楽しんでいました。

鮫川牛のバーベキューを楽しむ参加者





力自慢が集まった全日本干し草投げ選手権大会



会場は笑顔でいっぱいでした



祭りを盛り上げたYOSAKOI(よさこい)踊り



来場者を魅了した「強滝太鼓」



紅晴美さんの歌謡ショー



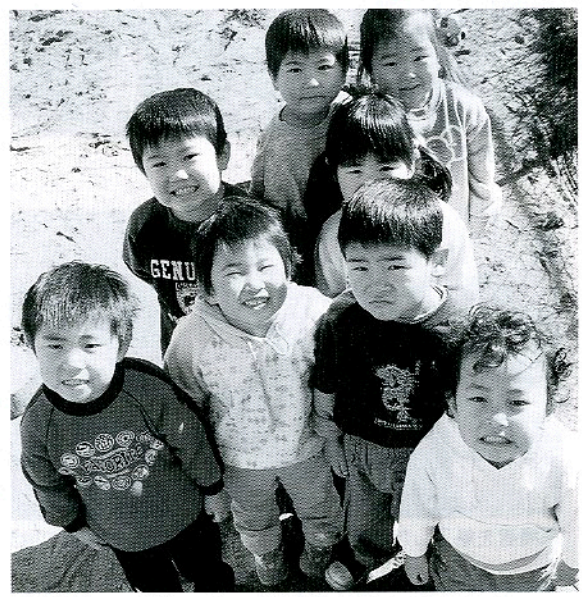
約3,500人が秋の一日を楽しみました



平成16年度

保育所入所児童募集

●問い合わせ
村住民福祉課福祉係　☎49-3113
鮫川保育所　☎49-2056
渡瀬保育所　☎48-2050



「保育所って楽しいよ」（渡瀬保育所の子どもたち）

平成十六年四月から保育所への入所を希望する児童の入所申し込みを次により受け付けます。

●保育所の概要

①鮫川保育所　▼所在地…赤坂中野字新宿一二九▼定員…九十人▼対象児…おおむね一歳六カ月から就学前の児童▼開所時間…午前七時～午後六時三十分

②渡瀬保育所　▼所在地…渡瀬字中野町一一三▼定員…四十五人▼対象児…乳児（六カ月以上）から就学前の児童▼開所時間…午前七時三十分～午後六時

●入所基準　児童の保護者が次のいずれかに該当し、家庭内で保育ができない場合…▼日中に家庭外で仕事をしている場合▼日中に家庭内で家事以外の仕事をしている場合▼母親がいない場合▼母親が出産または病人・障害者などの場合▼病人や障害者などの看護をしている場合▼家庭が災害にあった場合

●受付期限　十二月十六日（火）

●受付場所　役場住民福祉課福祉係または各保育所

●手続きに必要なもの　▼保育所入所申込書（住民福祉課および各保育所にあります）▼印鑑▼母親の就労状況を証明する書類（勤務・内職をしている場合は事業所の証明。自営業・農業などの場合は地区民生委員の証明）

●その他　平成十五年度から引き続き入所を希望する場合は申込書の提出は必要ありません（母親の就労状況を証明する書類は提出してください）。また、申し込みは年度途中でも随時受け付けます。

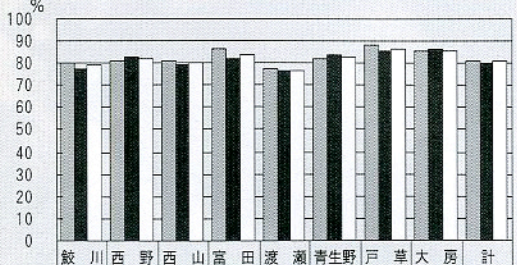
衆議院議員総選挙

村の投票率は80・86％

十一月九日（日）に執行された第四十三回衆議院議員総選挙（衆議院小選挙区選出議員選挙、衆議院比例代表区選出議員選挙）の村の投票率は、前回（平成十二年六月二十五日執行）の八六・一〇％を五・二四ポイント下回る八〇・八六％でした。また、最高裁判所裁判官国民審査の投票率は七九・九七％となりました。

衆議院議員総選挙の投票区別および年代別の投票率は次のとおりです。

投票区別投票率



	鮫川	西野	西山	富田	渡瀬	青生野	戸草	大房	計
□男	80.45	80.95	80.88	86.25	77.59	82.24	87.95	85.39	81.50
■女	77.58	83.17	79.46	81.65	76.19	83.55	85.23	86.05	80.24
□計	78.99	82.10	80.14	83.96	76.86	82.89	86.55	85.71	80.86

人事

村助役に白坂利幸氏



助役に就任した白坂氏

10月23日に開かれた村議会臨時会に空席となっていた村助役の人事案件が提案され、全会一致の同意を得て、村総務課長の白坂利幸氏（赤坂西野字茅・55歳）が選任されました。任期は平成15年11月１日から平成19年10月31日までの４年間です。

白坂氏は、昭和46年４月に村職員として採用され、住民課長、農林課長、建設課長、総務課長などを歴任。このたびの助役就任に対し、「厳しい財政状況の中、大樂村長の補佐役として、全職員と共に村発展のために全力を注ぎたい」と話しています。

■村職員人事

白坂前総務課長の助役就任に伴う村職員の人事異動が、次のとおり行われました。

11月１日付・（ ）は旧所属

▶参事兼総務課長兼選挙管理委員会書記長（企画調整課長）須藤好▶企画調整課長（交流施設所長）鈴木治男▶主幹兼交流施設所長（主幹兼学校給食センター所長）北條利雄▶主幹兼学校給食センター所長（主幹兼建設課長補佐）芳賀亨▶主幹兼総務課長補佐兼総務係長（主幹兼総務課長補佐）鈴木眞理子▶主幹兼建設課長補佐（主任専門技師兼総務係長）近藤保弘

村議会で「不法投棄防止宣言」を決議

依然として後を絶たないごみの不法投棄などから自然環境を守ろうと、十月二十三日に開かれた村議会臨時会に「不法投棄防止宣言」が議員提案され、決議されました。

宣言文は次のとおりです。

■不法投棄防止宣言

私たちのふるさと鮫川村は、心に伝わる自然のやさしさと、人々の温もりを感じる村です。

また、山や田畑・川からは多くの産物を享受できる恵まれた自然環境にあります。

しかし、村内の至る所に、心無い人によるごみの不法投棄が依然として後を絶たず、また、村外からの産業廃棄物が持ち込まれ、悪臭と水質汚染など自然環境の悪化とともに良好な生活環境が失われようとしています。

私たち村民は、先人から託された鮫川村の美しい自然環境を後世に遺すため、ごみの不法投棄から守る理念のもとに

一、不法投棄を絶対にしない

一、不法投棄を絶対にさせない

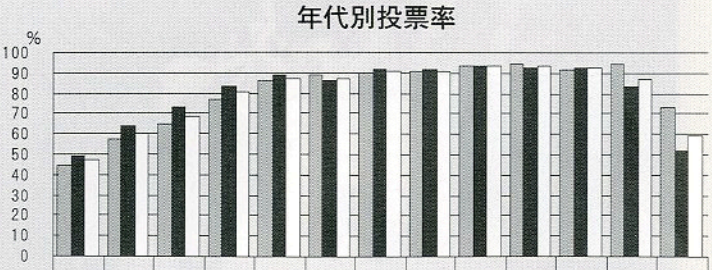
一、産業廃棄物を持ち込ませない

という誓いのもとに、進んで行動することを宣言し、ここに決議する。

平成十五年十月二十三日

福島県東白川郡鮫川村議会

年代別投票率



	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80～
□男	44.52	57.41	64.77	77.23	86.00	88.46	89.45	90.48	93.10	94.63	91.89	94.21	72.97
■女	49.28	64.29	73.08	83.50	88.73	86.29	91.55	91.74	93.33	92.50	92.51	83.02	51.98
□計	46.76	60.42	68.67	80.39	87.33	87.39	90.28	91.06	93.22	93.53	92.24	87.09	59.42

1 NEWS

村長さんに質問です。

鮫小6年生が大樂村長にインタビュー

鮫川小の六年生は、総合的な学習の時間に「見つけよう鮫川」をテーマに村の歴史や観光名所、人物などについて調査しました。

このうち、人物を担当した十人が十月二十日に役場村長室を訪れ、大樂村長にインタビュー。「なぜ村長さんになったのですか」「村長さんの仕事は大変ですか」「鮫川村をどんな村にしたいですか」などと一人ひとりが村長に質問し、熱心に取材していました。

湯坐香子さん（赤坂中野）は、「村長さんの今までのことが分かって勉強になりました」と笑顔で話してくれました。



インタビューに訪れた鮫川小の子どもたち



質問に答える大樂村長（右）

2 NEWS

鈴木公義さんの叙勲を祝う

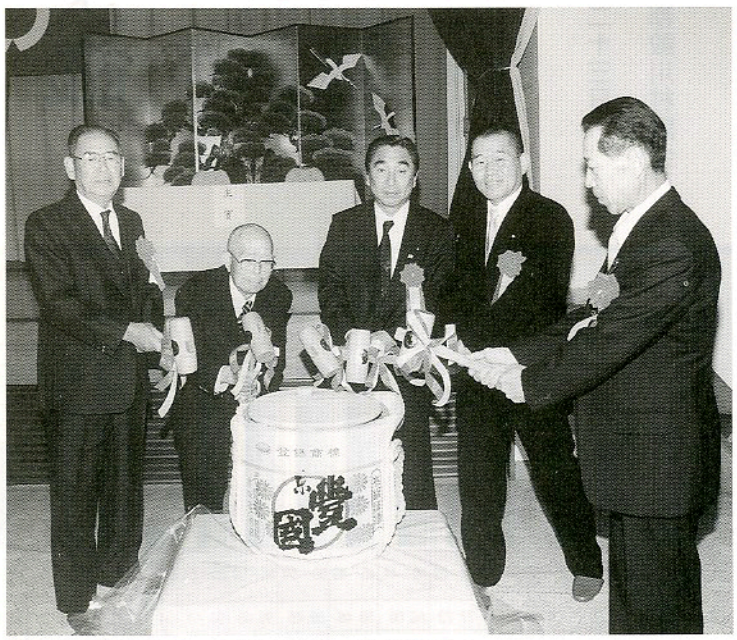
160人が出席し祝賀会

今年四月一日付で高齢者叙勲「勲六等瑞宝章」を受章した元村議会議員の鈴木公義さん（西山字馬場）の叙勲祝賀会は十一月十五日、約百六十人が出席し、村公民館で開かれました。

主催者を代表して大樂村長があいさつ。白石卓三県議会議員、元村議会議長で友人の芳賀喜一さんが祝辞を述べたあと、鏡開きが行われました。

祝宴に入り、赤坂中野区長顧問会（大河内平代表）などから記念品、ひ孫の鈴木里歩ちゃん、松本慈ちゃんから鈴木さんに花束が贈られました。

これに対し鈴木さんは、「高齢とはなりましたが、今後も村の振興発展のために微力を尽くしたい」と力強く謝辞を述べ、出席者全員で万歳三唱し、叙勲の栄誉をたたえました。



鏡開きをする鈴木さん（左から２番目）と大樂村長ら

3 NEWS

生徒らの創意と工夫が結集

鮫川中で「壇の岡祭」を開催



学級対抗の合唱祭

「Keep on shining」（輝き続ける）をメインテーマに、鮫川中の学校祭「壇の岡祭」が十一月一日に行われました。

開祭式のあと、校内意見文発表会や学級対抗の合唱祭、野外炊飯やスポーツフェスティバルなど、生徒らの創意と工夫が結集した盛りだくさんのプログラムが次々と繰り広げられました。

また、生徒らが協力し合って制作したビッグアートが、体育館ステージを飾りました。

4 NEWS

鮫川スポ少が念願の初優勝

東白川少年ソフトボール大会



優勝を喜ぶ少年団の子どもたち

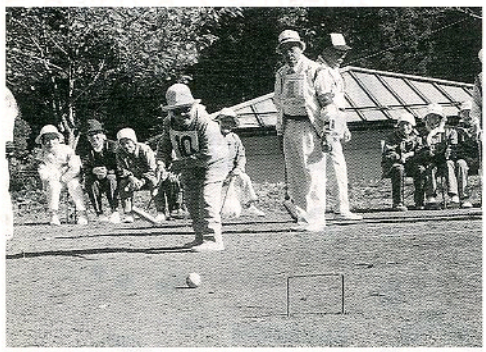
鮫川スポーツ少年団は、十一月一日に塙町で開かれた「第二十一回東白川少年ソフトボール大会」で、念願の初優勝を果たしました。

同少年団は一回戦で城北（棚倉）を18対0、二回戦は常豊（塙）を32対0と、いずれも大差で完封勝利。続く準決勝は高野（棚倉）を12対2で退けました。決勝は棚倉ホーマーズと対戦し、接戦の末、4対3で勝利を収めました。

5 NEWS

平均年齢82歳が熱戦制す

議長杯・副議長杯争奪ゲートボール大会



議長杯を目指し熱戦が展開された大会

村ゲートボール協会主催の「第一回議長杯・副議長杯争奪ゲートボール大会」は十月二十四日、さぎり荘ゲートボール場で開かれ、参加チーム最高年齢の東石C（平均八十二歳）が優勝し、議長杯を手にしました。

男女混合の十六チームが出場。予選を勝ち抜いた八チームが決勝トーナメント戦に進出し、上位入賞を目指しました。

なお、準優勝（副議長杯）は西山C、三位は渡瀬Aでした。

6 NEWS

むし歯のない子は4人

10月28日実施の3歳児健診



圓井　空志くん
赤坂東野字広畑



三瓶　春香ちゃん
赤坂西野字茅



藤田　菜月ちゃん
赤坂西野字茅



鷲野谷海翔くん
富田字中沢

十月二十八日に村保健センターで実施した三歳児健診で、むし歯がなかったお子さんは、受診児十二人中四人でした（写真）。

次回の三歳児健診は、一月二十九日（木）の予定です。

村民の皆さんが作るコーナーです。

みんなのページ

矢吹さつき さん

Satsuki YABUKI

やぶき・さつき●昭和23年６月生まれ。赤坂西野字岫長在住。趣味は詩舞、読書、園芸など。特に身体を動かすことが好きで、愛犬・ハナとの散歩を日課としている。



村民［随想］リレー ㊺

今だからできることを

「お母さん、今日は？」で始まる我が家の朝。家族のスケジュールが書き込んであるカレンダーは、私の所が一番多い。仕事、農作業、趣味、そして村主催のいろいろな事業にも参加し、結構忙しい毎日を送っています。

五十代半ばになって体力の衰えに気づき、特に老眼や五十肩のつらさを味わってから健康に関心を持つようになりました。健康大学にも参加して、正しい食生活と適度な運動で筋力をつけることなど、自分の健康は自分で守ることの大切さを学びました。筋力強化の実技やエアロビクス、ハイキングなどもあり楽しい教室でした。これを機に何人かの仲間と高齢者健康体操のお手伝いをしようということになり、脳刺激・筋刺激・骨刺激体操を組み込んだレインボー体操の研修に参加して修了することができました。水中体操のときは、泳げない上に水着など何年も着なかったのでドキドキでしたが、四回の実技が終わるころには私の腕がとても楽になり驚きました。

今、私が何でもできるのは家族が元気でいてくれるから。高齢となった義母の健康寿命が続くことを祈りつつ、今だからできる、自分に必要と思うことをスケジュール表に入れていきたいと思っています。

次は、岡部啓一さん（赤坂西野字大塩）にバトンタッチ！

俳句

木道と尾瀬草紅葉終焉す　中井　恒峯
鷹鳴ける岬の霧は流れ去る　金沢　暁舟
山間の稲刈る鎌のリズムかな　矢部　正子
雨雫見ている今朝の寒さかな　山本　朗史
落葉焚く赤い夕日を眺めつつ　鈴木　友蔵
ねんごろに赤児抱きあげ冬に入る　斉須　信子
仕事場は七五三蕎の香に酔いし　小山田清哲
七五三の木履（ぽっくり）響く瓜生　前田　縫子
橋夏寒く反三俵の収穫（みいり）かな　北條素人坂
紅葉山息たくわえて朝の霧　黒田　寿香
木枯を切って駅伝阿武隈路　松本　精一
年毎に煩いながら冬仕度　小松ハルエ
雨しとど落葉しとど白秋忌　山本五十鈴

短歌

久々の顔見つめつつ街角に手を取り合うも名は忘れたり　蛭田　浩市
一番鶏の声の残れるわが耳朶に占う今日は良きことのある　森　芳子
休耕のつもりが永久の減反か荒れし棚田に山鳥の鳴く　大平　太平
ガマズミの実を採りて来てジュースなど造れる庭に山懸巣の声　坂本　雪絵
母の死のありようを語る教え子にも老いの兆しの現れており　芳賀　常夫
家猫は臥床違えず脚伸ばしゆうゆうと寝る安らぐものか　蛭田　光江
孫たちの喧嘩もよろし爺婆が仲裁をして今日も賑やか　前田　初

情報の泉

わくわく

WAKU－WAKU

募集

●ふきのとう手話サークル 会員募集 手話に興味のある方はご連絡ください。小・中・高校生の入会も大歓迎です。／連絡先・詳細…☎0247-49-3138〔鈴木光子(田尻)〕

案内

●小林幸子コンサート 日時…平成16年1月25日(日)昼の部＝午後2時開演、夜の部＝午後6時30分開演／場所…棚倉町文化センター「倉美館」／チケット料金…6,500円(全席指定)／詳細…倉美館☎0247-33-9610

投稿写真館



投稿者／水野茂男さん（西山）

西山地区体育祭（10月12日）



投稿者／富田区

富田区スポーツ交流会（10月26日）

地域の催しの案内、仲間づくりの呼びかけなど、掲載希望記事を募集しています。詳しくは総務課広報担当まで。



セピア色の思い出 ㊹

昭和26年3月

富田小学校独立後初めての卒業生

提供／鷲野谷武志さん（富田字彦次郎在住・66歳）

昭和二十五年三月三十一日に鮫川小学校富田分校から昇格独立して富田小学校となりました。この写真は、独立後初めての卒業生です。私は前年度の卒業（分校としては最後の卒業生）でしたから、一つ後輩に当たります。

富田小学校は、今年の三月に統合のため閉校となり、独立から五十三年という長い歴史に幕を閉じました。地区をあげて記念事業を行い、多くの思い出を心に刻みました。

（鷲野谷）

重なりて羽を擦り合わす赤とんぼ紅く色づく甘柿の上　増子　紗久

霜白き朝も毅然と咲き出でて菊花は匂うわが家の庭に　根本　恵智

小鳥らに啄まれつつ梅もどきいつしか空の師走の庭は　関根　米子

バスを降り徒歩十分でお釜観る写真撮るのみの現代観光か　鈴木イミ子

夢に見る蔬菜畑や亡妻の稼ぐ姿の生き生きとあり　齋藤　平四

苦も楽も山野の道と心得て歩めるわれのリズム変わらず　関根　瑞恵

畑仕事に気怠くなれば欠伸しつ雲を突くがに手を伸ばしたり　本郷　松子

道徳と云える言葉は耳にすも公徳の言葉は死語となりしか　松本　一郎

今日もまた悪臭放ち何処へ行く連ねる車国道走る　赤坂　朝子

季ならぬ歌友より頂く柏餅手製の話題にひととき弾む　岡部　シゲ

やまびこの窓より望む那須の嶺白く綿帽子冠りて居りぬ　前田喜三子

山深く落葉踏みしめ栗茸の陽に輝ける恵みに出会う　杉山　磯子

若きらの奉納相撲継続し鎮守の祭りにぎやかなりし　北條　平

いずこより種とび来しか荒畑にわがもの顔に咲く泡立草は　鈴木　クニ

着ぶくれて膝の痛みを撫でながらいつまで続くわれの詩舞かも　水野　ミチ

歳老いて優しい言葉孫の声心安らぐその一言に　藤田千代子

子や孫に電話をすれば仕事中老の寂しさ耐える他なし　関根　ハナヨ

環境

家庭系パソコンのリサイクルが始まりました

今年10月1日から、家庭から排出される使用済みパソコン（デスクトップパソコン本体、ノートパソコン、CRTディスプレイ、液晶ディスプレイ）を回収・リサイクルする「PC（パソコン）リサイクル」が始まりました。これは、消費者とメーカーが協力しながら使用済みパソコンを再資源化し、廃棄物の減量化と資源の有効利用を進めるものです。

なお、事業系パソコンについては、平成13年4月1日から産業廃棄物としてパソコン所有者の費用負担でメーカー回収が行われています。

家庭系パソコンの回収・リサイクルの流れは次のようになります。

①不要となったパソコンの回収をメーカーに電話で申し込みます（9月30日以前に購入したパソコンについては、回収・再資源化にかかる費用負担があります）。

②メーカーから、郵便局の「ゆうパック伝票」（PCリサイクル専用）が送られてきます（伝票には必要事項が印字されています）。

③パソコンを自ら梱包し、送付された「ゆうパック伝票」を貼ります。

④最寄りの郵便局に持ち込むか、戸口回収を希望する場合は「ゆうパック伝票」に記載されている郵便局に電話し、日時などを決めてください。

⑤回収されたパソコンは郵便局を通じ、メーカーに運ばれます。

■問い合わせ　県南地方振興局環境グループ☎0248-23-1421、村環境衛生課環境係☎49-3196

防災無線

戸別受信機の電池切れに注意

防災無線の放送終了時に、戸別受信機から「プップップッ」という音が聞こえたり、電源ランプが赤の点滅に変わったりした場合は電池切れです。新しい乾電池に取り替えてください（液漏れのしにくいアルカリ乾電池の使用をお勧めします）。そのままにしておくと、停電のときに放送が聞こえなくなります。

また、受信機の故障などについては、役場総務課総務係までご連絡ください。

■問い合わせ・連絡先　村総務課総務係☎49-3111

最新の放送内容を電話で確認できます

防災無線の放送を聞き逃した場合、最新の放送に限り、その内容を電話で聞くことができます。

なお、午前6時50分の定時放送のほか、臨時放送や火災発生時の緊急放送も含みます。

専用電話番号　0247-49-2711

保健

タバコと健康を考えるシンポジウム

日時　12月7日（日）午後1時～3時30分

場所　JAしらかわセレモニープラザ（多目的ホール）

内容　①基調講演…演題「あなたの迷惑、わたしの迷惑～喫煙の健康に及ぼす影響と禁煙について～」（講師＝山形県米沢市・高橋胃腸科外科医院長　高橋秀昭氏）／②シンポジウム…テーマ「職場や家庭でのタバコ対策を考える」〔シンポジスト（5名）＝禁煙成功者・健康を守る女性・教育関係者・医師・行政の立場から〕

入場料　無料（どなたでも参加できます）

■問い合わせ　県南保健福祉事務所健康増進グループ☎0248-22-5447、FAX0248-22-5451

役場の電話番号
0247-49-3111（代表）

ファクシミリ　49-2651
ホームページ
http://samegawa.site.ne.jp/
携帯電話向けホームページ
http://samegawa.site.ne.jp/k/
Eメール
samegawa@ninus.ocn.ne.jp

【直通電話番号】

総務課	49-3111
住民福祉課	49-3112 49-3113
農林課	49-3114
企画調整課	49-3115
建設課	49-3116
環境衛生課	49-3196
農業委員会	49-3197
議会事務局	49-3198
出納室	49-3199

【その他の機関】

教育委員会	49-3151
図書館	29-1150
公民館	49-2247
歴史民俗資料館	49-3106
農業者トレーニングセンター	49-3295
鮫川幼稚園	49-2358
学校給食センター	49-2113
鮫川保育所	49-2056
渡瀬保育所	48-2050
保健センター	29-1231
国保診療所	49-2028
ほっとはうす・さめがわ	48-2555

携帯電話向けホームページを開設しました

村では、高度情報化社会に対応した情報提供手段の一つとして、このたび、携帯電話向けホームページを開設しました。

情報内容　鮫川村ミニガイド、観光ガイド、イベント情報、行政ガイド、行事ガイドなど

利用できる携帯電話サービス
i-mode、J-sky、EZweb

ホームページアドレス
http://samegawa.site.ne.jp/k/

■**問い合わせ**　村企画調整課企画振興係☎49-3115

自衛隊生徒(中卒)募集

資格　中学校卒業(見込み含む)、17歳未満の男子

募集期限　平成16年1月6日(火)

試験日　1次…平成16年1月10日(土)、2次…同年1月23日(金)～26日(月)

入校　平成16年4月上旬

その他　修学年限は4年で、卒業時3等陸・海・空曹

■**問い合わせ**　自衛隊白河募集事務所☎0248-24-0372

「国の教育ローン」をご利用ください

高校や大学、専修学校などの入学者や在学者は、国民生活金融公庫の「国の教育ローン」を利用することができます。このローンは、入学金や授業料、教科書代、アパートの敷金・家賃など入学時や在学中に必要となる資金を融資する公的制度です。

融資額　200万円以内

融資期間　10年以内(在学期間以内で元金据置が可能)

返済方法　毎月元利均等払い(ボーナス併用払いが可能)

■**問い合わせ**　国民生活金融公庫郡山支店☎024-923-7140

当座・普通・別段預金は平成17年3月末まで引き続き全額保護されます

●定期預金などについてはこれまで同様、元本1,000万円までとその利息が保護されます。それを超える部分は、破たん金融機関の財産の状況に応じて支払われます（一部カットされることがあります）。

●平成17年4月以降は、当座預金などの利息のつかない預金が全額保護されることになります。

●預金保険制度、農漁協系統貯金保険制度ともに同様の取り扱いがなされます。

■**問い合わせ**　東北財務局福島財務事務所☎024-535-0301、金融機関の窓口

国民年金推進員をご存じですか

昨年4月から、国民年金の保険料は国に直接納めるようになりました。それに伴い、県内の各社会保険事務所に「国民年金推進員」が配置され、戸別訪問による国民年金制度の案内や各種届け出に関する相談、保険料納付のお願いなどの業務を行っています。また、被保険者一人ひとりの年金権を確保するため、保険料の納め忘れがないよう電話による納付督励も行っています。

なお、推進員は社会保険事務所の非常勤職員で、常に身分証明書を携行しています。

■**問い合わせ**　福島社会保険事務局白河事務所☎0248-27-4164

毎日の食事で健康寿命を延ばしましょう

近年、がん・心臓病・脳卒中・糖尿病・高脂血症などの生活習慣病が深刻な健康問題となっており、死亡原因の6割を占めています。そして、これらの疾病の多くは食生活と深くかかわっています。

2000年6月、WHO(世界保健機関)は日本人の長寿の秘けつを、「伝統的に低脂肪の食事をとり、心臓病の比率が低いため」と分析しています。栄養バランスのとれた食事をとってきたことが日本人の寿命を支えてきたのです。

しかし、最近では肉類や油脂などの摂取量が多くなり、脂肪エネルギー比率を高める食事が増えてきています。生活習慣病を予防するためにも基本的な食事のバランスを知り、できることから実践してみましょう。

■　■　■

主食、主菜、副菜、汁物は食生活の基本です。

①主食…食事の中で最も中心的な穀類を主材料とするものに、ごはんやパン、めん類などがあります。最近の日本人の食事で不足しているのがこの主食です。1日にとる量として、例えばご飯1杯（150g）×3回です。

②主菜…魚や肉、卵、大豆製品を使った料理で、良質のたんぱく質や脂質です。1日にとる総量として魚（60g）、肉（60g）、卵1個（50g）、豆腐半丁（100g）、納豆1パック（40g）です。3食に分けてしっかり食べましょう。

③副菜…野菜などを主材料に使った料理で、ビタミンやミネラル、食物繊維を補うとともに、バランスをとる上でも重要です。1日にとる総量として緑黄色野菜、淡色野菜、きのこ類をすべて合わせて300g。生で刻んで両手山盛りの量です。

④汁物…1日におわん1杯は、野菜や海藻がたくさん入ったみそ汁を飲みましょう。

⑤その他…ビタミンや食物繊維が豊富な果物をとりましょう。1日にとる量の目安として、みかん＝中2個、りんご＝中半分、柿＝中1個、バナナ＝中1本です。

■　■　■

毎日の食事をバランスよく、そして楽しく食べ、健康寿命を延ばしたいものですね。

Book

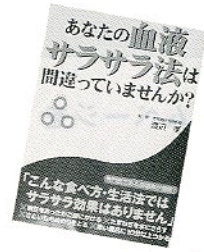
図書の缶詰

図書館からおすすめの本をご紹介

※図書館改築工事のため、図書館業務は歴史民俗資料館で行っています。



からだっていいな（山本直英・片山健作、童心社）…「からだがあるといろいろできる。からだがあるといろいろかんじる。からだっていいな」というからだ賛歌。



あなたの血液サラサラ法は間違っていませんか？（渡辺孝監修、主婦と生活社）…血液サラサラ法を正しく理解してサラサラ血液にする35の方法が紹介されています。

火	水	木	金	土
2 ● リハビリ教室… 10:00～15:00[ほ]	**3** ● 筋力づくり教室… 10:00～15:00[ほ]	**4** ● 保育所開放日（鮫川・渡瀬） ● 栄養教室・健康相談会…9:30～14:00 塩倉集落センター	**5** ● 栄養教室・健康相談会…9:30～14:00 西部集落センター	**6** ● 幼稚園生活発表会 …9:20～
9 ● 筋力づくり教室… 10:00～15:00[ほ] ● 社会学級閉級式… 10:00～15:00[公]	**10**	**11** ● 筋力づくり教室… 10:00～15:00[ほ] ● 栄養教室・健康相談会…9:30～14:00 西野区民センター	**12** ● さくらんぼ教室… 9:00～11:30[ほ]	**13** ● 渡瀬保育所お遊戯会 ● 鮫川中教育講演会 …14:00～15:30
16 ● リハビリ教室… 9:30～15:00[保]	**17** ● 筋力づくり教室… 10:00～15:00[ほ] ● 社会復帰支援事業（やまぶきの会）… 10:00～14:00 県南保健福祉事務所棚倉支所	**18** ● ポリオ生ワクチン投与…13:30～[保]	**19** ● 保健センター開放日（らっこくらぶ）… 10:00～15:00[保] ● 心配ごと相談… 13:00～15:00[公]	**20** ● 鮫川保育所お遊戯会 ● チャレンジスクール… 10:00～14:00[ほ]
23 *天皇誕生日* ㊡ 東白川中央病院（棚倉町）☎33-3263 東舘診療所（矢祭町）☎46-3165 やまもと内科（石川町）☎26-8311 ● 図書館（資料館）休館日	**24** ● 栄養教室・健康相談会…9:30～14:00 切払集会所 ● 筋力づくり教室… 10:00～15:00[保]	**25** ● 栄養教室・健康相談会…9:30～14:00 前沼集会所 ● 筋力づくり教室… 10:00～15:00[保] ● 村県民税（4期）、国民健康保険税・介護保険料（7期）納期	**26** ● 役場仕事納め	**27**
30 ● 図書館（資料館）休館日	**31** ㊡ あらまちクリニック（棚倉町）☎33-8018 ● 図書館（資料館）休館日	**1/1** *元旦* ㊡ おおひら整形外科（棚倉町）☎33-9468 ● 図書館（資料館）休館日	**2** ㊡ 杉山胃腸科外科皮膚科（棚倉町）☎33-7551 車田病院（塙町）☎43-1019 ● 図書館（資料館）休館日	**3** ㊡ 和田医院（棚倉町）☎33-2012 金沢医院（矢祭町）☎46-2312 ● 図書館（資料館）休館日
6 ● 筋力づくり教室… 10:00～15:00[保]	**7** ● 筋力づくり教室… 10:00～15:00[保]	**8** ● 栄養教室・健康相談会…9:30～14:00 中沢集会所 ● 幼稚園、小・中学校第3学期始業式	**9** ● 栄養教室・健康相談会…9:30～14:00 鍬木田・反田集会所	**10**

㊡＝休日当番医　［公］＝公民館　［保］＝保健センター　［資］＝歴史民俗資料館　［トレセン］＝農業者トレーニングセンター　［ほ］＝ほっとはうす・さめがわ

●お誕生　10月届け出分・敬称略



鈴木　智大・男
平15.10. 4生
住所…馬場
保護者…幸男・純子



白井　花奈・女
平15.10. 8生
住所…中沢
保護者…博明・夕子



棚井　綾香・女
平1510.10生
住所…青生野
保護者…幸一・有子



関根　幹・女
平15.10.10生
住所…赤柴
保護者…裕治・幸子



武藤　圭汰・男
平15.10.20生
住所…内ケ竜
保護者…玄由・仁子

●おくやみ　10月届け出分・敬称略

住所	氏名	月日	年齢
大石草	鈴木　喜一	10. 7	87歳
大久保	生田目マツ	10.13	92歳
二本田	圓井　春利	10.14	80歳
下野町	吉田　シイ	10.18	88歳
折戸	阿久津光翁	10.18	86歳
滝ノ下	遠藤　正雄	10.22	86歳

●人の動き　11/1現在・（　）は前月比

人口	4,637人（＋1）
男	2,293人（－5）
女	2,344人（＋6）
世帯	1,115戸（－3）

●寄付　10月受理分・敬称略

■社会福祉事業のために（金員）…鈴木次男（大石草）生田目芳（大久保）圓井一郎（二本田）吉田喜榮（下野町）阿久津光市（折戸）遠藤稲穂（滝ノ下）／■広報誌送付料として（金員）…湯座文男（神奈川県平塚市）

●編/集/後/記

■夢に向かって生きている人は、本当に輝いて見えるものですね。自らの意志で農業の道を選び、目標を持って仕事に取り組む３人を取材し、改めてそう感じました。■これは、農業に限ったことではないでしょう。商工業も、サービス業も、そして、私たち公務員も…。　（舟木）

12 生/活/情/報/カ/レ/ン/ダ/ー/ 月1日～1月10日

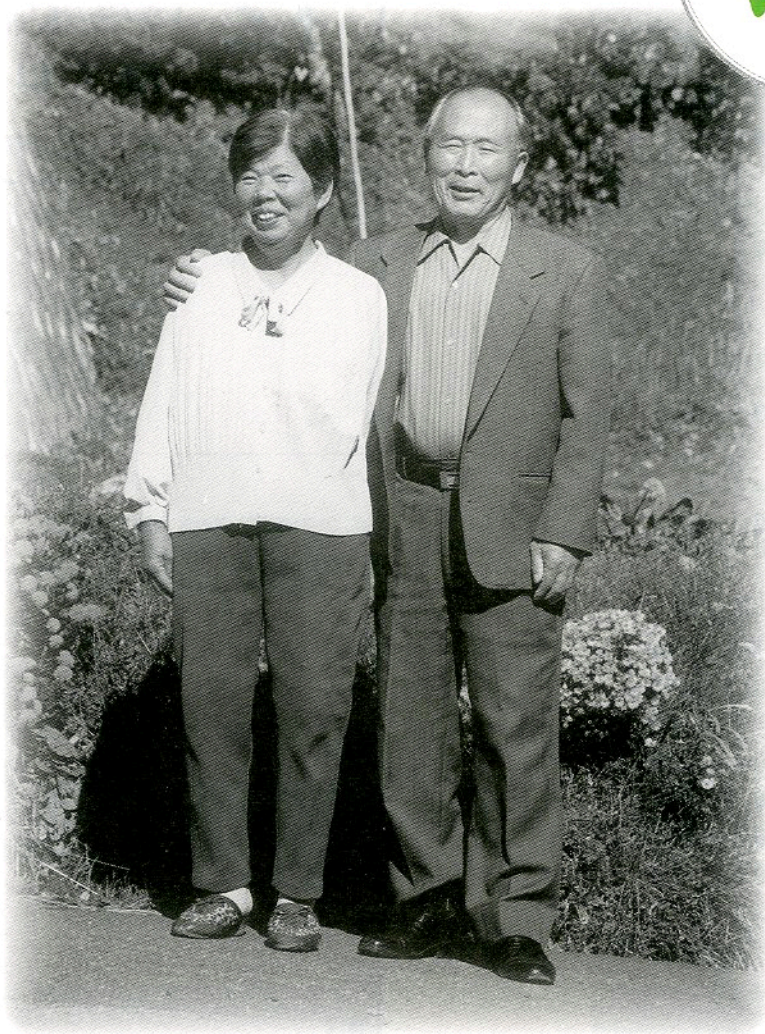
日	月
	12/1 ● 図書館（資料館）休館日
7 ㊡ 和田医院（棚倉町）☎33-2012 車田病院（塙町）☎43-1019 中島病院（石川町）☎26-3415	8 ● 図書館（資料館）休館日 ● 社会復帰支援事業（やまぶきの会）…10:00～14:00［保］ ● ４か月児・10か月児健診…13:30～塙厚生病院
14 ㊡ 勝田医院（棚倉町）☎33-3008 金沢医院（矢祭町）☎46-2312 浅川ファミリークリニック（浅川町）☎36-3705	15 ● 図書館（資料館）休館日
21 ㊡ 大木医院（棚倉町）☎33-2424 塙厚生病院（塙町）☎43-1145 中島病院（石川町）☎26-3415 ● 親子読書教室・子育てサポーター養成研修会…9:30～11:00［公］	22 ● 図書館（資料館）休館日 ● 栄養教室・健康相談会…9:30～14:00塚本ふれあいセンター ● 農業委員会総会 ● 幼稚園、小・中学校第２学期終業式
28 ㊡ 藤田医院（棚倉町）☎33-2013 木村医院（矢祭町）☎46-3528 中島病院（石川町）☎26-3415 ● 図書館（資料館）休館日	29 ㊡ 中島病院（石川町）☎26-3415 ● 図書館（資料館）休館日
4 ㊡ 勝田医院（棚倉町）☎33-3008 木村医院（矢祭町）☎46-3528 中島病院（石川町）☎26-3415 ● 消防団出初め式 ● 図書館（資料館）休館日	5 ● 役場仕事始め ● 図書館（資料館）休館日

※行事などの日程は都合により変更になる場合があります。

半世紀の

絆

KIZUNA



孫はかわいいと思ったけど、ひ孫も同じくらいかわいいね。

高木勝美さん[70歳]・**トキ**さん[71歳]　赤坂中野字薄ケ久保在住・昭和27年12月結婚

昔は企業がなかったから、女の人は嫁に行くのが就職のようなものだった。戦後の貧しい時代から現在の豊かな時代まで苦も楽も味わってきたけど、子どもが結婚して大家族で生活してきたことが、今となっては一番うれしい思い出だよ。

私たちの現在の楽しみは、二人でドライブに出かけること。温泉に行ったり、紅葉を見に出かけたりするんだよ。

そして、私たちにはもう一つの楽しみがあるんだ。それは、東村に住んでいる孫とひ孫たちが休みになると遊びに来てくれること。孫はかわいいと思ったけど、ひ孫も同じくらいかわいいね。

[談]



ひ孫たちと一緒に

金婚夫婦に50年を振り返っていただくコーナーです。

広報さめがわ
No.596 [平成15年12月1日発行]
発行／福島県鮫川村　編集／総務課
〒963-8401 福島県東白川郡鮫川村大字赤坂中野字新宿39番地5
TEL 0247-49-3111　FAX 0247-49-2651